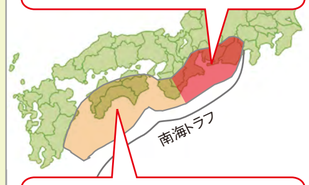
気象庁からの「臨時情報」は命を守るサインです

南海トラフの想定震源域で一定規模以上の地震が発生した場合などに気象庁から「臨時情報」が発表される場合は、速やかに地震発生に備えた対応に結びつけることが重要です。

南海トラフ地震臨時情報 巨大地震の発生に備えた行動を

南海トラフの「東側」で大規模地震が発生（西側が未破壊）半割れ

南海トラフ「東側」で大規模地震（M8クラス）が発生

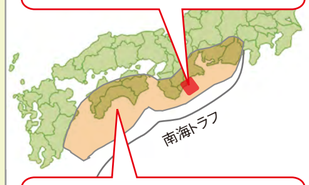


残りの領域でも大規模地震発生の可能性！

巨大地震 警戒

南海トラフの中で比較的大きい地震が発生（M7クラス）一部割れ

南海トラフ「沿い」で地震（M7クラス）が発生

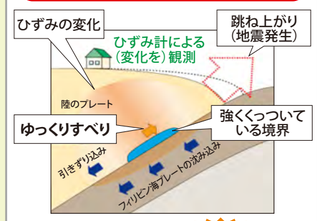


南海トラフの大規模地震の前震か？

巨大地震 注意

プレート境界面の「異常なすべり」ゆっくりすべり

東海地震予知情報の判定基準とされていたようなプレート境界面での「すべり」が発生



巨大地震 注意

避難の検討

●避難するところ
- 地震津波から安全な所
- 親類・知人宅
- 自治体が開設する避難所 など

●避難すべき人

津 波
- ●津波が来るまでに逃げられない人

地震による揺れ
- ●揺れで倒壊する危険がある建物に住む人

- ●土砂災害の危険がある地域に住む人

避難期間＝1週間程度（国が示す最も警戒すべき期間です）

警戒体制をとる

●日頃の地震への備えの再確認
- ●避難場所・避難経路
- ●家族との安否確認手段
- ●家具の固定
- ●非常持出品 など

●できるだけ安全な防災行動を
- ●高いところに物を置かない
- ●屋内のできるだけ安全な場所で生活
- ●すぐに避難できる準備（非常持出品等）
- ●危険なところにできるだけ近づかない など

徳島県の取組み

南海トラフ巨大地震における「死者ゼロ」の実現を目指すため、県では「南海トラフ臨時情報」を活用した「防災対応方針」を昨年12月に策定しました。明日起こるかもしれない巨大地震に備え、一人ひとりが命を守るための防災準備を始めてください。

「徳島県南海トラフ沿いの異常な現象への防災対応方針」について
詳しくはこちらから▶

●お問い合わせ先／とくしまゼロ作戦課
☎088-621-2710 FAX088-621-2987
この記事をより詳しくご覧になりたい方は、右の2次元コードからアクセスしてください。▶

最後に自分や家族の命を守るのは、一人ひとりの「自助」の力です

徳島大学環境防災研究センター センター長・教授 中野 晋さん

江戸時代末期（1854年）に安政南海地震が発生したのは、安政東海地震から約32時間後のことでした。牟岐町の出羽島にも大きな津波が押し寄せましたが、多くの住民が東海地震発生後から山に避難していたことで助かったといわれています。

「半割れ」というと、あたかも被害が無さそうに感じますが、この「半割れ」とはマグニチュード8クラスの東南海地震が起こった場合であり、この地震によって徳島県でも大津波警報が出される見込みです。政府の想定している東南海地震の被害予測では、県南では4m、県北でも1～2mの津波が想定されており、一部では浸水等の被害がありますが、そういうことも理解して、臨時情報が出されることがどれほど大変なことなのかを知っておいていただけたらと思います。もちろん、臨時情報が出されたからといって、1週間以内に地震が起こるかどうかは分かりませんが、160年前に実際にそうやって予め避難していた方がたくさん助かったという教訓は活かすべきです。「半割れ」が発生したら、津波避難が必要な方は、事前避難をしてください。

臨時情報を安全確保に活かす

社会が麻痺したとき自分を救えるか

徳島県でも災害時の被害を最小化する「減災」や、被害からの復興スピードを高めるための「縮災」対策が着実に進められていますが、県が公表している南海トラフ地震の被害想定では、最大ケースの場合、避難者が36万人以上となっており、「公助」にも限界があります。このため、最終的には「自助」が大切です。津波被害を受けない地域でも地震による土砂災害や家屋倒壊も考えられます。住宅の耐震化や食料の備蓄、電源の確保など、自分でできる準備から始めましょう。南海トラフ地震は、明日やってくるかもしれないのですから。

徳島県防災・減災キャラバン公開講演会「南海トラフ巨大地震に備える」［参加無料］

●内 容／●南海トラフ地震による市町村の被害予測
●臨時情報発表時の対応行動
●事前防災・減災のすすめ

●講 師／徳島大学環境防災研究センター センター長・教授 中野 晋 氏

※当日参加も可能です。

詳しくは

- ●松茂町 11月15日（金） 松茂町総合会館
- ●阿南市 11月22日（金） 津乃峰総合センター
- ●北島町 12月5日（木） 北島町図書館・創世ホール
- ●美波町 12月6日（金） 日和佐公民館
- ●藍住町 12月13日（金） 町民シアター
- ●徳島市 12月19日（木） ふれあい健康館1階ホール
- ●鳴門市 12月20日（金） 市役所共済会館
- ●牟岐町 12月22日（日） 市宇ヶ丘学園

〈各会場とも18:30～ 牟岐町のみ11:00～〉

あなたの命を守るのは、あなたです！

住宅耐震化

大地震が起きて激しい揺れが続いたとき、自宅から外へ出られますか？ 古い木造住宅の約97%は倒壊する可能性があります！ 地震対策の第一歩として、住宅の耐震性を確保しましょう。

まったなし 住まいの耐震化

避難経路の確認

避難所までの避難経路を歩いてみましょう。避難は徒歩が原則です。震災発生時に倒れる恐れのある電柱や建物などに気づきます。避難経路の危険な箇所を把握し、安全に避難できるようにしましょう。

非常用備蓄品

地震が起きた直後は、水、食料、日常生活品がすぐ手に入りません。救援活動が受けられるまでの水や食料、常備薬など各家庭で備えておきましょう。3日分の備蓄が目安です。

ふるさと発見！ あわっ子文化大使通信

あわ文化を次の世代に伝承し、徳島の魅力を県内外に発信する「あわっ子文化大使」のリポートです。

石井町の誇り「田中家住宅」

●あわっ子文化大使リポーター
徳島県立川島中学校 竹内（たけうち） 紗奈（せな）

私が住んでいる石井町には「田中家住宅」があります。

「田中家住宅」は江戸時代初めから大正時代初めまで藍に携わってきた藍商の屋敷で、敷地内の建物全てが国指定の重要文化財になっています。「田中家住宅」がある石井町藍畑（あいはた）は吉野川沿岸部にありますが、昔の吉野川は堤防がなく、毎年、台風の度に氾濫がおき、稲作には適しませんでした。しかし、台風前に刈り取りできる藍作が進められ、氾濫によって、藍作に必要な沃土が運ばれてきました。そのため、吉野川沿岸の地域では、藍作が盛んだったのです。まさに、藍作は問題を克服する知恵だといえます。

田中家住宅

「田中家住宅」も屋敷全体の地盤が高く造られているなど、洪水対策が施されています。約50年をかけて完成された「田中家住宅」は藍作の歴史が分かるとともに、江戸時代末から明治にかけての「藍屋敷」の姿を残している貴重な民家です。

皆さんもぜひ「田中家住宅」を訪れてみてください。

●皆さんからのご意見・ご感想をお待ちしています。
グローバル・文化教育課 ☎088-621-3055 FAX088-621-2882

阿波ふうと AWA FOOD 徳島の食でみんなを幸せに！

だいこんステーキ

作り方
① 大根は2cm厚の輪切りにし、表面に格子に浅く切り込みを入れる。
② 湯を沸かし、透明になるまで7～8分下ゆでする。
③ フライパンに油を熱し、中火で焼き目が付くまで両面焼く。
④ バターを加え、溶けたらしょうゆを回しかけ、焦がさないように全体を混ぜながら大根に絡める。

材料（2人分）
●大根 8cm ●バター20g ●しょうゆ 大さじ2 ●油 適量

●レシピ提供／もうかるブランド推進課

おでかけだより

●4K・VR徳島映画祭2019

4K・VRに特化した、日本で唯一の映画祭。今回は、4K・8K・VRシアターをはじめ、eスポーツブースも新設！ 著名人のセミナー、音楽×映像ライブ、フードマルシェなど人気コンテンツもさらにパワーアップ。
神山町を舞台にした近未来映像ワールドへ、今年もぜひ遊びに来てください！
【とき】11月22日～11月24日 10:00～17:00（最終日16:00まで）
【ところ】神山町広野小学校旧校舎
【問】とくしま4Kフォーラム実行委員会事務局（企業支援課内）
☎088-621-2147 FAX088-621-2853
詳しくは

●若手クリエイターの競演！4Kプロジェクションマッピングショー

県内の若手クリエイターが制作した4Kプロジェクションマッピングを、「あすたむらんど徳島」のイルミネーション期間に合わせて上映します。
【とき】12月5日～12月29日18:00～20:30（毎時00分と30分に上映）（12月11日は休園日のため上映はありません）
【ところ】あすたむらんど徳島 子ども科学館 正面入口前
【問】企業支援課 ☎088-621-2324 FAX088-621-2853

●TOKUSHIMA スポーツフェスティバル

運動やスポーツに親しむきっかけづくりに、様々なスポーツやレクリエーションが体験できるイベントを開催します。ステージでは子どもたちによるダンス披露やスポーツ関係者を招いてのフォーラムもあります。
【とき】11月17日 10:00～16:00
【ところ】アスティとくしま【問】スポーツ振興課
☎088-621-2113 FAX088-621-2819
詳しくは

●近代美術館ユニバーサル美術館：話せば広がる鑑賞物語

桂ゆき〈さる・かに合戦〉1948年

「誰もが楽しめる美術館」を目標にかかげ、ユニバーサル美術館展を昨年に続いて開催します。今年のテーマは「コミュニケーション」。物語性を感じさせる所蔵作品を選び、皆さんが様々な感想や解釈をつなげ、見方を広げていけるような展示を工夫しています。
【とき】11月23日～12月25日
【問】県立近代美術館 ☎088-668-1088 FAX088-668-7198
詳しくは

●あすたむらんど徳島 熟睡プラ寝たリウム

星を見てるとつい眠たくなる…
そんな方にオススメです。
熟睡歓迎のプラネタリウムです。
【とき】11月23日 15:40～16:30
※プラネタリウム観覧券が必要です。
【問】あすたむらんど徳島
☎088-672-7111 FAX088-672-7113
詳しくは

スタジアムに行こう！

TOKUSHIMA VORTIS ホームゲーム

2019シーズン最終戦
11/24（日）14:00～
VS レノファ山口FC
鳴門・大塚スポーツパーク ポカリスエットスタジアム
※都合により試合日程が変更となる場合があります。

県庁だより

県主催の講習会や募集などさまざまな情報をお知らせします。

講座・講習

●若者の自立をサポートする保護者セミナー
【とき・ところ】12月7日14:00～・県教育会館
【対象】卒業後、自立に悩む若者の保護者（要予約）
【講師】徳島大学大学院教授佐藤健二氏
【問】とくしま地域若者サポートステーション
☎602-0553 FAX625-3530

●手話通訳者養成ブラッシュアップ講座
【とき】11月25日～2月17日（全11講座）
【ところ】県立障がい者交流プラザ研修室ほか
【対象者】手話通訳（応用課程）または手話通訳養成Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ修了程度
【申込期限】11月20日【テキスト代】3,080円
【問】県聴覚障害者福祉協会
☎・FAX631-1666

募集しています

●「徳島かんきつアカデミー」オープンキャンパス＆産地見学会参加者
【とき・内容】①11月29日・アカデミーとすだち農家見学
②11月30日・アカデミーとみかん農家見学
【対象】新たに農業を始めたい方、就農して間もない方、かんきつアカデミー受講を検討中の方等
【募集人員】各日15名（要事前申込）
【問】県経営推進課
☎621-2427 FAX621-2858

お知らせ

●〈毎月1点検運動〉11月のテーマは「津波避難」
県では、県民の皆さんの防災意識の向上と防災力強化のため「"みんなで減災対策"を推進する毎月1点検運動」を実施しています。沿岸地域にお住まいの方やお勤めの方は、自宅や会社にどのくらいの津波が来るのかハザードマップなどで確認しておきましょう。揺れを感じたら高い所へ逃げる習慣を身につけ、家族や地域で避難訓練を行ってみましょう。

●県下一斉徴収強化月間
地方税は地域社会を支える重要な財源であり、その滞納は他の納税者との公平の観点からも見過ごせない課題です。そこで、県と県内全市町村は11～12月を「県下一斉徴収強化月間」と定め、連携して徴収対策を実施しています。
【問】県税務課 ☎621-2075 FAX621-2892

●11月は「児童虐待防止推進月間」です。
児童虐待は社会全体で解決すべき問題です。あなたの1本のお電話で救われる子どもがいます。「虐待かも？」と思ったらすぐに、児童相談所全国共通ダイヤル189（いちはやく）にお電話ください。
【問】県次世代育成・青少年課
☎621-2731 FAX621-2843

●第2回合同公売会（徳島県&徳島市）
県と徳島市は合同で、差押財産（家具・テレビなど約120点）の合同公売会を開催します。
【とき・ところ】11月24日13:00開場・徳島市役所
【問】県東部県税局徳島庁舎
☎626-8820 FAX626-8730

●栄養成分表示等に関するプロジェクト成果報告会
【とき・ところ】11月28日13:30～・藍住町合同庁舎
【内容】消費者庁との連携による県内を実証フィールドとした調査事業の成果報告会を開催します。参加費は無料です。
【申込期限】11月21日
【問】消費者庁消費者行政新未来創造オフィス
☎600-0007・0013 FAX622-6171

●米軍機とみられる低空飛行について
県民の皆さんから目撃情報をいただいた場合、国に対し米軍機かどうかの確認と低空飛行の中止を要請しています。さらに強く国へ訴えるため新たにサブサイトを作成し、情報を収集しています。県のHPから目撃情報をお寄せください。
【サブサイト】https://www.pref.tokushima.lg.jp/beigunkimokugeki
【問】県総務課 ☎621-2026 FAX621-2821

●「農業経営収入保険」加入申請を受付中！
農業者の経営努力では避けられない収入減少を補てんし、さまざまなリスクから農業経営を守る保険です。
【対象】青色申告を行っている農業者
【申請期限】11月30日
【問】徳島県農業共済組合
☎622-7731 FAX622-4315

●自死遺族交流会のご案内
【とき】11月22日13:30～
【ところ】県精神保健福祉センター
【内容】自死遺族の方の語り合いの場です。
【問】県精神保健福祉センター
☎602-8911 FAX652-2327

※市外局番（088）を省略しています。